



Center of Japan

36° 07' 00" N 138° 00' 00" E

日本のど真ん中  
信州辰野町

# たつのまち 議会 だより



辰野町イメージキャラクター  
びっかりちゃん



辰野町議会

編集・辰野町議会広報編集委員会  
発行・辰野町議会  
発行日・令和3年11月1日

## 辰野町令和2年度決算認定 令和3年度災害補正予算可決

7月臨時会・9月定例会

2

総務産業委員会レポート

6

福祉教育委員会レポート

8

一般質問

10

町民の声

16



川島下飯沼澤地区 (いいまちたつの知らせ隊)

# 7月臨時会 9月定例会で全議案



第7回臨時会 (7/15 1議案・一般会計補正予算)  
第8回定例会 (9/1～9/17 決算、補正予算等 28議案 他)

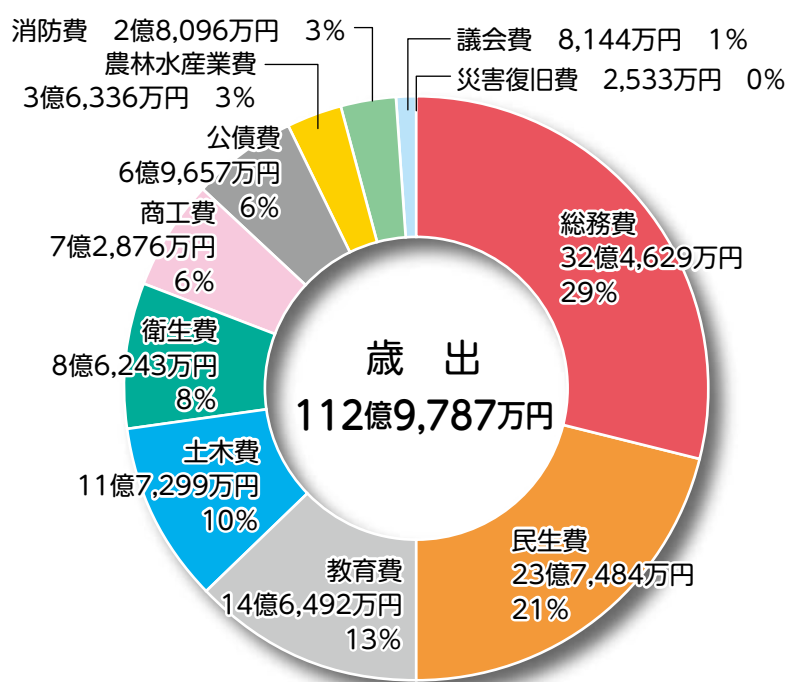
## 総額189億円 令和2年度決算を認定

－ コロナ対応等で過去最高に・辰野病院会計以外は黒字 －

一般会計歳出に関する主な質疑をご報告します。(特別会計は、各常任委員会のページをご覧ください。)

区分	歳入	歳出	形式収支
一般会計	117億7,546万円	112億9,787万円	4億7,758万円
特別会計(国保他)	78億118万円	76億4,725万円	1億5,393万円
合計	195億7,663万円	189億4,513万円	6億3,151万円

\*特別会計のうち上水、下水、病院会計は、収益的収支額(税抜き)を集計。千円単位を四捨五入。



### 令和2年度一般会計歳出目的別内訳

#### ■総務費

- 問** ESP(エネルギーサービスプロバイダ)業務委託の狙いは。
- 答** 役場庁舎等の新電力供給事業者の選定を外部業者に委託し、トータルコストを抑える為。
- 問** マイナンバーカードの新規発行枚数は。配布は県下何位か。
- 答** 令和2年度 2,461枚。今年8月末累計で配布率 41.3%。県下5位。

#### ■民生費

- 問** 福祉タクシー券の対象者への周知は。
- 答** 基準で対象となる住民には通知している。その他に、基準対象者以外で必要な方については、民生委員から推薦いただいている。
- 問** 保健センター高圧受電設備修理について、近隣への波及事故を防ぐ為にも注意・認識は。
- 答** 点検報告を受け、交換時期等を見ながら予算化している。



## ■教育費

- 問** 学習用タブレットの持ち出し基準は。  
**答** 定まっていないが、頻繁に家に持ち帰っている。併せて接続環境の調査をしている。  
**問** 全児童生徒の中で要保護・準要保護就学援助費を受けている割合は。  
**答** 小学校は準要保護 116 名で全体の 13.9%、中学校では 67 名で全体の 14.3%。

**意見** 捕捉しきれていないのでは。アウトリーチで追っていく必要がある。

- 問** 美術館の管理体制と来館者数は。  
**答** 館長、会計年度任用職員含めて 5 名体制。令和 2 年度入館者数は 5,055 名。  
**問** 図書購入費の内訳は。  
**答** 新刊図書と DVD。出来るだけ本の購入に充てている。  
**問** 文化財としての公文書の保存に対する検討は。  
**答** 専門家を雇う必要がある。保存と廃棄のサイクルは機能し始めている。

## ■土木費

- 問** 駅前街なみ環境整備事業の進み具合は。  
**答** 住民主体の計画に切り替えたが、コロナで意見集約が進まない。

## ■衛生費

- 問** 合葬式墓地の予約状況は。  
**答** 4 月から予約を開始し、8 月末現在、個別埋葬 35 件、共同埋葬 17 件の申し込みがあった。



蛍光苑

- 問** ママサポート事業の内容は。  
**答** 社協に委託。社協からヘルパーを派遣し家事や育児支援する。昨年度の利用は 2 件。  
**問** 保健補導員の役割は。  
**答** 健診の啓発や受診券の配布、次年度の健診申込書の取りまとめ等をお願いしている。

**意見** 補導員をお願いする際、役の重要性をしっかりと認識してもらう事が重要。担い手不足など問題意識を持ち、組織のあり方を考えてほしい。

## ■商工費

- 問** コロナ対策で商工会への補助金の用途は。  
**答** 人件費以外に展示会出展費や商店振興費等に活用している。  
**問** 北沢工業団地発掘調査報告書はいつできるのか。  
**答** 令和 5 年に冊子として終了予定。

## ■農林水産業費

- 問** たつの営農への補助の考え方は。  
**答** 独立採算を望むが、町の大きな担い手育成の為、機械リース料の 2 分の 1 を補助し、ソフト面の指導等に関わっていく。  
**問** 林班図と公図の作成はいつできるか。  
**答** 令和 4 年 2 月が完成予定。半分は済んでいる。

## ■消防費

- 問** 火の見櫓の日常管理は。  
**答** 消防団が点検している。



火の見櫓

## 陳情審査・意見書発議

－「地方税財源の充実を求める」意見書を議決－

陳情・請願		委員会 審査結果	本会議 採決	意見書 提出
陳情 第 9 号	75 才以上の医療費窓口負担 2 割化の中止を求める陳情	不採択	不採択	なし
	<p><b>【不採択に反対 瀬戸】</b> 日本医師会も反対しているように高齢者に負担を強い、受診抑制を招く改定だ。2 割化の対象が国会審議なしに拡大できる事も問題。若者も負担増になる。税の集め方と使い方を改め、国庫負担割合を戻し 2 割化は中止すべきだ。</p> <p><b>【不採択に賛成 矢ヶ崎】</b> 今回の改正は高齢者への影響にも十分配慮した上で、現役世代の負担を抑える措置を講じるものだ。実施時期はコロナの影響を踏まえて 22 年度後半とし、3 年間は負担増を 3,000 円までとする措置が取られるので、賛成。</p>			

【賛否が分かれた議案への各議員の賛否は、以下のとおり（敬称略）】

- 陳情第 9 号 （陳情賛成）吉沢、瀬戸、向山  
 （反対）松澤、山寺、矢ヶ崎、津谷、池田、樋口、舟橋、小澤

# 災害・コロナ等で大型補正予算

— 総額 4 億 8 千万円 —



一般会計を増額補正しました。主な内容は、以下のとおりです。

	補正総額	主な内容
7号補正	1,455 万円	保健センター修理・改修他
8号補正	356 万円	役場庁舎エアコン修理。町長専決を承認
9号補正	2 億 6,716 万円	大雨災害復旧費用。町長専決を承認
10号補正	3,058 万円	パークホテル指定管理料増額など
11号補正	1 億 6,823 万円	災害復旧費、コロナ商業振興など

## 8 月大雨災害復旧補正予算

可決した主な災害復旧事業の概要と予算は、以下のとおりです。

### ●道路・河川復旧費 2 億 2,590 万円

	個所数等	復旧個所
町道	45 路線	町道 14 号線・小野下雨沢など
河川	14 カ所	小野大沢川、上平出沢入川など



大石平被災地  
復旧状況



### ●農林施設復旧費 1 億 4,197 万円

	個所数等	復旧個所
農地	200 筆	小野、宮木、上平出など
用水路	29 カ所	小野、北大出など
頭首工	24 カ所	川島、小横川、上辰野など
林道	33 路線	西部線、富士山線など



町道 663 号風茂呂沢  
復旧状況 (川島区)



### ●災害ゴミ処理費 1,500 万円

土砂・木材	約 1000m <sup>3</sup>
一般ごみ・木材	18.6t
一般ごみ・可燃物	3.8t
仮置き場	4 カ所

### ●区災害対応への町補助金 435 万円

- ・重機使用料等を町が負担 350 万円
- ・避難所準備、被災調査等 85 万円

### ●羽北地区中学通学バス運行費 270 万円



荒神山陸上競技場  
復旧状況



# コロナ対策商業振興補正予算

## ●プレミアム付商品券事業 3,613 万円

- ・国、県補助金を使い、プレミアム率 30%の商品券を販売
- ・プレミアム分補助金 3,000 万円、運営販売委託費 613 万円



## ●ほたるポイント 3 倍事業支援 633 万円

- ・ポイント上乗せ分負担 600 万円、広告宣伝費 33 万円



## <その他の審査結果>

議案名 (要約)	主な内容
令和 3 年度上水道補正予算・第 2 号	補正 3,200 万円 被災水道施設復旧費
令和 3 年度上水道補正予算・第 3 号	補正 500 万円 沢底地区配水管布設替
令和 3 年度介護保険補正予算・第 1 号	補正 4,113 万円 生活支援体制の社協委託等
手数料条例の一部改正	国の制度改正に伴う改正
医療費特別給付金条例の一部改正	
上水道給水条例の一部改正	
下水道条例の一部改正	料金を内税表示にして金額は据え置き
農業集落排水処理施設条例の一部改正	
記号式投票条例を廃止する条例	感染防止のため、ゴム印式の投票をやめる
南小長寿命化工事契約 (建築) の変更	715 万円増額 外壁補修の増工など
南小長寿命化工事契約 (機械設備) の変更	224 万円増額 厨房衛生機器増工など
人権擁護委員推薦への同意	北條勝美氏、増澤進氏の再任
教育委員の任命への同意	関正彦氏の再任



## 大雨災害の被災に対し お見舞金をいただきました。

鋸南町議会、長野県町村議会議長会、北信越町村議会議長会の皆さまから、令和 3 年 8 月前線による大雨災害の被災に対し災害見舞金をいただきました。

お寄せいただいた義援金とあわせて、町内の被災された皆さまのために活用いたします。



岩田議長と長野県町村議会議長会渡邊会長



# 総務産業常任委員会

事業会計決算審査 ～付託議案は全て認定・可決～

9月11日、13日、町長、担当職員出席の下で審査し、14日現場審査を行いました。

## 議案第2号

令和2年度辰野町上水道事業会計決算について  
安心、安全な水道水を安定的に供給するため、令和2年4月から簡易水道事業を統合。

年度末剰余金は、議案第26号で資本金に6億5,000万円を組み入れたい。

湯舟浄水場緩速ろ過池の長寿命化工事等を行う。

◆収入総額 4億3,017万円

◆支出総額 3億8,477万円

◆収支差額 4,540万円の黒字

問 未処分利益剰余金に変動させる理由は。

答 減価償却資産は積立金としていたが、法改正を受け資本金への繰り入れを選択し、将来の事業継続更新投資に備えた。

◇採決の結果 委員全員一致で認定すべきものと決しました。



委員会決算審査

## 議案第26号

令和2年度辰野町上水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

未処分利益剰余金6億5,000万円を資本金に組み入れたい。

◇質疑 特になし。

◇採決の結果 委員全員一致で可決すべきものと決しました。

## 議案第3号

令和2年度辰野町下水道事業会計決算について  
生活インフラの安定した下水処理施設の長寿命化事業を継続するため、下水道ストックマネジメント

計画に沿って事業推進。

年度末残高7,654万円を減債積立金に積み立て処分したい。

◆収入総額 9億3,905万円

◆支出総額 8億6,251万円

◆収支差額 7,654万円の黒字

問 企業債利率が高いが、借り換えは出来ないか。

答 検討はしているが、繰り上げ償還に手数料等がかかり借り換えは簡単にできない。

◇採決の結果 委員全員一致で認定すべきものと決しました。



井出の清水水源（平出区）

## 議案第27号

令和2年度辰野町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

未処分利益剰余金7,653万6,429円を減債積立金に積み立てたい。

◇質疑 特になし。

◇採決の結果 委員全員一致で可決すべきものと決しました。



天竜川沿いの辰野水処理センター全景

## 地方財源を救うため国に意見書

### ○発議第1号

■コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の拡充を求める意見書の提出について

◇趣旨 新型コロナウイルス感染症蔓延で、我が国は戦後最大の経済危機に直面している。地域経済に大きな影響が及び、地方税・地方交付税の大幅な減収等により、今後の地方財政は巨額の財政不足が予想される。

地域の行政サービスを安定的に提供するため、地方税・地方交付税等の一般税源総額の確保を国に求める意見書を提出する。

### ◇主な意見

○固定資産税の見直しや特例措置は今回限りか疑問。

○自動車税環境性能割りの「断じて延長しない」は強すぎ。

○意見書の「断じて」等の強い表現は理解できる。

◇採決の結果 全員一致で採択し、意見書を提出することに決しました。

## 現場審査（主に長寿命化と改良工事）



湯舟浄水場長寿命化工事



ほたる童謡公園舗装工事



町道54号線工事



中央橋補修工事

### 令和2年度 事業名

- ・湯舟浄水場緩速ろ過池長寿命化工事
- ・湯舟浄水場運転整備改良工事
- ・社会資本整備総合交付金事業  
町道54号線工事  
(赤羽交差点～沢底)
- ・ほたる童謡公園園路舗装工事
- ・国庫補助道路メンテナンス事業  
中央橋補修工事

## 町長への要望

■コロナ禍の非常に厳しい経済状況を踏まえ、商工会と協力し更なるきめ細やかな事業者支援を

### 町長

- 商工業と観光支援で商工会の経済対策は
- ◎売上確保、事業継続支援、相談業務等経営支援
- ◎商工会と企画段階で協議、負担金等支援
- ◎AIやIoT技術の研修会を合同開催
- ◎商工会ネットワークや専門的知見を活用しアフターコロナを見据えた事業者支援

商工会と密な連携を図り、各事業者に寄り添い事業継続支援等に取り組む。



辰野町商工会館

■コロナ禍で厳しい経営が続く指定管理者と適切な経営に向けて協議を

### 町長

たつのパークホテルとかやぶきの館は、厳しい経営状況で2年目となり以下を確認している。

- ◎国県の方針に沿って感染防止の徹底
- ◎地域における感染状況に配慮
- ◎町民福祉の向上
- ◎最大限の経営努力と経費削減、集客に努めた事業継続

今後も定期的な打ち合わせで情勢分析し、共通認識で知恵を出し合いコロナ禍を乗り越えたい。



かやぶきの館



# 福祉教育常任委員会

## 特別会計・事業会計決算審査

9月11、13日、教育長、担当職員出席の下で審査し、14日現場審査を行いました。

### ◆国民健康保険特別会計

新型コロナウイルス感染症対策として、国保税の減免をおこなった。傷病手当金や町独自の施策として、事業主傷病見舞金制度を創設した。

**問** 国保基金の考え方は。

**答** 平成30年度に広域化し、財政が県になったため基金は備える必要がなくなった。これからは国保税の税率を上げる検討の際に抑制のための活用など検討していく。



委員会決算審査

### ◆国民健康保険診療所特別会計

第一診療所の患者数は210人で29人の減となり、68%が後期高齢者の診療収入となった。川島診療所の患者数は154人で1人の減となり、後期高齢者のみの診療収入となった。

### ◆後期高齢者医療特別会計

高齢化の進行により医療費が増大していくなか、安心して医療が受けられるように制度の安定化が課題とされる。

### ◆辰野病院事業会計

新型コロナウイルス感染症の影響により、年患者数の落ち込みも危惧したが、補助金及び後半の患者数の持ち直しにより大きな落ち込みは回避された。支出では新型コロナウイルス感染症の影響で、診療材料の高騰、購入増と高額薬剤の使用、消費税の増額等があり、減価償却費は減少。収支差引で239万円の赤字決算となった。一般会計繰入金は前年度と同額の4億6,700万円となった。

**問** 職員の数は足りているのか。

**答** 数でいえば足りているが、育児休業中の職員がいる。夜勤が組めずそのぶん、今いる職員の負担が多くなり苦慮している。

**問** 薬剤師の状況は。

**答** 大手の薬局に流れてしまう。医師と同じくらい確保が厳しい。薬剤師が足りないとチーム医療にも影響が出る。

**問** 一般会計繰入金は基準内繰入れか。

**答** 基準内である。

**問** 抗原定量検査の体制と状況は。

**答** 発熱など症状がある場合に、電話による問診後、医師と相談し検査を希望される方に病院の外で検査をしている。検査結果が出るまでに1時間弱かかるため結果連絡は状況に応じた対応を取っている。一日平均10名から13名の検査をしている。



PCR検査キット

### ◆介護保険特別会計

介護保険サービスは、訪問介護などの在宅サービス及び介護老人福祉施設など入所して受ける施設サービスを合わせ、27,560件の利用があった。

**問** 現在、欠員になっている生活支援コーディネーターの今後は。

**答** 生活支援体制整備事業を社協に事業委託をする予定。今後は社協が生活支援コーディネーター、地域福祉コーディネーターを養成する。

以上、特別会計・事業会計決算の5議案について委員全員一致で認定すべきものと決しました。



## 請 願 ・ 陳 情 審 査

### ◆国に対し「75歳以上の医療費窓口負担2割化実施の中止を求める意見書」の提出を求める陳情

趣旨は「75歳以上の後期高齢者の収入に対する患者一部負担の比率は、現役世代より大幅に高く、後期高齢者の医療費窓口負担を2割とする医療制度改革関連法は、現役世代との公平化という建前は成り立たない。高齢者の受診控えを促し、健康に悪影響を及ぼしかねない」などから、国に対してこの中止のための意見書提出を求めるもの。

(陳情に賛成の意見)

- ・若い人もいづれ年をとるので若い人にとっても負担増ということになる。
- ・高齢者にはできるだけ病気や異変に早く気が付いて医者にかかって、重篤化しないようにすることが求められている。

・一般的に負担能力が少なく、所得に限られる中で、高齢者の負担増は国の福祉政策と逆行している。

(陳情に反対の意見)

- ・負担減が必ずしも大きいわけではないが、現役世代の負担を減らすことになる。
- ・高齢者の負担増は喜ばしいものではないが、今後の医療費負担など考えると仕方ない。
- ・若い世代のことを考えれば2割負担は仕方がない。

賛成2、反対3で不採択にすべきと決しました。

## 現 場 審 査



## 町 長 へ の 要 望

### ◆全世代対応型を視野に入れ、地域包括ケアシステム構築の加速化をめざすことについて

地域包括ケアシステムの構築に向けて地域ケア推進会議、専門部会が開催され、保健福祉課課長補佐地域ケア調整幹の任命により更なる取り組みに期待する。全世代対応型を視野に入れ、地域包括ケアシステム構築の加速化をめざして次の要望をする。

- 多職種連携と地域共助を基本としたシステム構築の推進
- 地域ケア推進会議、専門部会による十分な検討と住民への情報発信

町長

地域ケア推進会議では、地域課題を把握し、医療・介護・予防・住まい・生活支援の5つの要素の充実を目標に、関係者の連携強化や、自立した日常生活の支援のために必要な施策や事業等について検討を進めている。「在宅医療・介護連携検討部会」「生活支援部会」「介護サービス検討部会」の3つの専門部会を作った。

今後、この専門部会で、それぞれの課題を検討し、その結果については広報などにより積極的に情報発信していく。



いっ  
—

ぱん  
般

しつ  
質

もん  
問

一般質問には11名の議員が登壇いたしました。それぞれ違った視点から町に問いかけています。是非各議員の内容をご覧ください。

ホテルが飛び交う自然豊かなまち

第五次総合計画後期基本計画の評価について	池田	P10
ふるさと納税について	山寺	P11
今後のほたる祭りのあり方について	舟橋	P11
武居町政一期四年と選挙公約について	小澤	P12
武居町政一期目の想いと二期に向かっての決意	矢ヶ崎	P13
二期を目指す町長の基本姿勢について	向山	P15

みんなが活躍できるまち

荒神山スポーツ公園の活性化について	池田	P10
移住施策における小学校の役割について	樋口	P14
空き家・空き地対策について	向山	P15
会計年度任用職員について	向山	P15

いつまでも健やかに暮らし続けられるまち

ボランティアポイントについて	山寺	P11
高齢者の外出支援の取り組みの進捗状況について	山寺	P11
子どもの予防接種について	松澤	P12
新型コロナウイルス感染症拡大の対応について	矢ヶ崎	P13
町営住宅申請等における証明書等について	瀬戸	P14
新型コロナ感染症対策	吉澤	P15

次代を担う人材が育つまち

川島小学校統合について	小澤	P12
技術吏員の育成について	小澤	P12
成人年齢引き下げに伴う消費者教育について	津谷	P13
3歳児検診における弱視早期発見について	津谷	P13
川島小学校の今後について	樋口	P14
統廃合の基準について	樋口	P14
町の目指す教育とは	樋口	P14
子どもの権利について	瀬戸	P14
川島小学校廃校問題	吉澤	P15
上伊那の高校再編	吉澤	P15

活力と魅力ある仕事のあるまち

新型コロナ感染拡大による町内商店への支援について	舟橋	P11
遊休農地を減少させていくために	松澤	P12
森林環境譲与税について	矢ヶ崎	P13
全町民対象の新型コロナ感染症支援について	瀬戸	P14

安全で快適に暮らし続けられるまち

町の防災・減災について	池田	P10
3つの事業会計の考え方	池田	P10
国道153号線電光掲示板早期設置を	山寺	P11
8月前線による大雨災害関連の事案について	舟橋	P11
8月災害の状況について	松澤	P12
8月大雨災害から見る流域治水について	津谷	P13
大雨による土砂災害の状況について	矢ヶ崎	P13
災害に対する防災・減災・避難等について	瀬戸	P14
板沢地区への最終処分場建設計画について	向山	P15
太陽光発電施設設置計画と条例について	向山	P15
今回の大雨災害への対応と教訓	吉澤	P15



池田 睦雄 議員

8月大雨災害の再発防止策を

町長 改修箇所を優先順位付け 国県へ事業要望

問 災害防止のハード面とソフト面対策は。

課長 ハード面は砂防えん堤や河川改修を計画的に進め、大規模事業は国県に要望する。ソフト面はハザードマップ以外に、町独自の住民参加型防災マップを各区で作成。

問 ハザードマップに災害場所と対策、新規か再発かを書き込み減災に活用しては。

課長 災害場所等のマップ落とし込みは良い提案だが、情報量が多く書き込みに限界がある。各種マップの重ね合わせを研究する。

各公営企業会計の課題と対策は

問 上・下水道、町立病院の経営の考え方は。

町長 常に企業の経済性を発揮し公共福祉増進を行う。国の定めにより収入で補えない経費は、一般会計から



井出の清水湧水地（平出区）

補う。企業債償還金は交付税措置が図られる。

問 各事業の課題と対策は。

課長 上・下水道事業は設備の耐震化や老朽化対策に多大な投資が必要。人口減少から有収水量減少で料金減少が課題。事業計画と経営戦略を見直す。

事務長 病院事業は医師の確保が最大課題。自治医大卒の医師確保はできたが、今後も各方面へ働き掛けを継続する。

第五次総合計画後期基本計画5年間の評価は

問 相関散布図で町民評価を分析しては。

課長 相対的な満足度は町民アンケートから5年前57.5%、今回63.4%で町民満足度は向上、一定の評価を得た。

荒神山スポーツ公園の活性化を

問 スポーツ公園の魅力作り、新規企画・提案の窓口と仕分け作業を生涯学習からまちづくり政策で取り扱っては。

町長 各部門が各分野で関わる公園は、一体的に進めるものと認識している。急激な窓口変更は出来ないで研究課題とする。



・全ての項目はホームページで閲覧できます。  
・質問は「辰野町第6次総合計画前期基本計画」の「将来目標」の項目に沿って区分けしています。



介護ボランティア  
ポイント制度の  
導入を



やまうち  
はるみ  
議員

**町長**  
重要な課題として  
考えている

**問** 地域助け合い事業を始めるにも、介護ボランティアポイントの導入は重要ではないか。

**課長** 役場関係部署と社会福祉協議会と連携しつつ、更なる一歩研究を進めていく。

高齢者の外出移動支援の取り組みの進捗状況について

**問** 町が最優先課題として位置づけている高齢者の外出移動支援は、何か具体的に検討を始めているか。

**課長** 町社協の新たな制度として、地域助け合い事業を始める。付き添い支援として、協力会員の車両で移動支援をする。安全や保障の面でまだ問題はあるが、試験運用の中で改善点を探りたい。

**問** AI（人口知能）活用の乗り合いタクシーの検討はできないか。

**課長** 近隣市町村で始めているAIタクシーに注視はしているが、費用対効果を考えて導入には至っていない。当面は利用ニーズを把握して、アナログによるサービス向上を目指したい。

ふるさと納税について

**問** ふるさと納税昨年の実績は。納税額の目標は設定しているか。魅力ある返礼品の開発は。

**課長** 昨年度実績は3,290件、7,911万円余り。目標額は1億円。返礼は色々試行錯誤している。

**要望** ふるさと納税は、町にとって自主財源を確保する大切な手段の一つ。時の動きをしっかりと捉えて、魅力ある返礼品の考案を。



ふるさと納税の返礼品

町内の国道153号に情報掲示板の早期設置を

**課長** 電光掲示板は泉水入り口に設置し2022年度までに運用を開始する。

プレミアム付  
商品券の発売は



ふなはし  
ひでゆき  
議員

**町長**  
11/1より3000円のプレミアム付で  
10,000冊発売予定

**町長** ほたるマイカード3倍キャンペーンも並行して実施する。

**問** 商店の経済状況は。

**課長** 町の商店300店中70店を調査。コロナ拡大前と比較して、40店が売上約50%ダウン。それ以外の商店も売上が軒並み減少しているのて売上喚起策とし本施策を実施する。

**問** プレミアム付商品券の換金の時期は。

**課長** 昨年同様、月2回を予定している。

8月の大雨災害の状況について

**問** 町の道路の被災状況は。

**課長** 町道は、土砂の流出や道路の決壊により34路線、45カ所で被災。県道では2カ所、国道は小野で浸水があり、一時通行に影響が出た。

**問** 国道の複線化に向け、町が主導すべきでは。

**町長** 昨年実施した地区のワークショップでも多くの声が上がった。今回の災害で改めて必要性は感じている。両小野バイパスは、県の調査予算がつき前進しており、南の地域のバイパス化も早期実現に向けて進めていきたい。

**要望** 町長が主導して、積極的に予算を掴み取る動きを示すこと。

今後のほたる祭りのあり方について

**問** 来年以降のほたる祭りをどのように考えるか。

**課長** 実行委員会の企画会議を近いうちに開催予定。今年のような新しい祭りの形態が良かったとの意見もある一方で、従来までの商店街に連なる露店の姿を望む声もある。今年の内容を総括した上で、関係者でしっかり協議をして考えていく。

**要望** 企画を立てることがとても重要だが、担当職員が少ないので増員を。



賑わいのある、じもとイチ（ほたる祭り）



小澤 睦美 議員

川島小学校統合を町長選挙の公約にする考えは

**町長** 教育委員会との議論を踏まえ判断する

武居町政 1 期 4 年の総括と町長選挙の公約は

**問** 武居町政 1 期目の 4 年間で振りかえって大変であった事業、心に残る事業は。

**町長** 1 つ目は辰野病院の経営健全化。2 つ目は湖周行政事務組合の最終処分場計画。3 つ目は川島小学校存廃問題。

**問** 川島小学校存廃問題は、どのような事案であったか。

**町長** 川島を有力な移住先として進めてきた政策と学校を統合対象とする矛盾から、3 年間存続に向け取組んで来た。しかし、今回子どもへの学びと育ちの機能を高めていくという義務教育の場である公立小学校の目的を第一に考え存続を撤回した。

川島小学校統合は

**問** あり方検討委員会の提言に沿った、川島小学校の統合はいつ行うのか。

**教育長** 保護者との懇談を行い、結論を出していく。したがって、今日いつとは言えない。

**問** 特認校制度はいつまで続けるのか。

**教育長** 特認校制度を使って通学している生徒がいる限り続ける。

**問** 不公平解消の為に、小規模特認校生徒と同等のバス利用・通学補助金の支給を。

**教育長** 町長と協議する。



川島小についての地区別説明会 提供：辰野町

「技術吏員」育成の考えは

**問** 工事発注に際して、責任と現場に熟知した設計を行う為にも、「技術吏員」育成が必要では。

**副町長** 今年度会計年度任用職員として、高度な専門知識を持つ土木技術指導員を配置し、若手職員、中堅職員の人材育成に繋げている。今後は、「技術吏員」の育成と併せて、技術系の資格を有する職員の採用も行い、技術系職員の専門職化に併せて育成を図っていきたい。



松澤 千代子 議員

8 月大雨災害の道路の被害状況は

**町長** 道路の復旧費用は 11,000 万円を算出

**問** 15 日からの交通渋滞の状況は。

**課長** 川岸で発生した土石流により、中央道、下諏訪辰野線が通行不能となり、更に善知鳥峠土砂流出による国道 153 号の通行不能が渋滞に追い打ちをかけた。辰野町から塩尻市に向かうには、諏訪経由か権兵衛峠で木曽経由でないと通行できない状況となった。また諏訪辰野線で交通事故が発生し更なる渋滞となった。中央道が通行可能となった以後は、町内の交通状態は落ち着いた。

**問** 国道 153 号の渋滞への対処方法は。

**課長** 道路網計画検討委員会で幹線道路にはバイパス道路が必要との意見があり、①小野地区で国道 153 号と並行する小野バイパス②今村付近まで国道 153 号と並行する辰野バイパス③一般県道と地辰野線の国道 153 号から伊那辰野停車場線までの区間の三路線の重要性が高く、順次、事業化に取り組む必要があると位置づけている。

遊休農地を減少させていくために

**問** 遊休農地の地主の耕作意思を確認する調査の状況と有害鳥獣被害防止の施策は。

**課長** 6 割の人が耕作を再開したいと思っている。また有害鳥獣の被害のために耕作できない耕地については新たな作物の栽培（例えば薬草やワイン用のブドウ）の研究を進め推奨している。

子どもの予防接種について

**問** 中信地区からの転入者が子どもの予防接種券などを、ファイルに入れたままの状態を受け取り、困ったとの声があがっているが、予防接種の周知方法は。

**課長** 1 才までの期間のものはまとめて渡しているが、検診時には接種を推奨している。その後のものは都度連絡をしている。

**要望** 未接種を把握したら期間が過ぎてしまう旨を伝え、接種の推奨を。





激甚化する水害へ  
ハザードマップの  
更新と多言語化は



津谷  
あきら  
彰  
議員

町長

県の調査完了後に行う  
多言語化も検討

8月大雨災害から見る流域治水は

問 流域治水の推進における、橋梁の危険度点検状況と今後の取り組み計画は。

課長 平成26年度から、5年に一度点検が義務付けられている。本年度は65カ所の橋梁を点検した。早期措置、緊急措置の判定により、2カ所の橋梁補修を実施している。



問 自然災害は頻発化、激甚化している。これまでどおりの防災教育では追い付かない状況だが、今後の教育現場での取り組みは。

教育長 平成29年に改定された学習指導要領に自然災害や安全に関する記述が増えている。タブレットを使用して地図上で学校付近の河川や、土砂災害などの危険箇所の情報を集め活用するプログラミング教育を研究中。

問 災害により、心に痛手を負った子どもたちのケアは。

教育長 各学校で子どもの心理的影響に配慮している。今回の災害で新たに、スクールカウンセラー2名が県教委から緊急派遣され、かなりの人数の児童・生徒がカウンセリングを受けている。また、職員や教師はショックを受けた子どもたちへの声掛けの指導を受けている。

成人年齢引き下げに伴う消費者教育は

問 2022年4月1日から、成人年齢が引き下がる。悪徳商法などを見抜く力を養うため消費者教育は必要だと思うが、中高生への取り組みは。

課長 中学校では学習指導要領に基づき、社会科、家庭科などでネットトラブル等の指導を実施。高校では、公民科、商業科などで消費者教育に関する事項を取り上げている。3年生を対象とした、県の消費者教育推進講師派遣事業を利用して講座などを行っている。

その他

・3歳児健診に弱視早期発見のため屈折検査機器の導入を。

大雨による  
土砂災害の  
応急対策は



やがさき  
のりお  
紀男  
議員

町長

激甚災害指定で  
財政処置の要望を行う

問 安心安全確保へ治水、砂防対策は。

課長 大沢川、にれ沢川の河畔林整備事業で河川断面を確保中。

問 災害を未然に防止する防災減災対策は。

課長 防災減災・国土強靱化の5か年緊急対策にある河川管理施設道路の老朽化対策として、道路事業15カ所、河川改修事業1カ所など6事業19カ所の整備を予定。



川島 昭源峽地域

問 森林環境譲与税の用途は。

課長 森林整備が主で風倒木処理や沢筋の危険流木撤去等。自然災害の頻発、激甚化、地球温暖化、山村林業の低迷対策等にもあてる。

問 想定される単独事業はどのようなものか。

課長 地元が行う簡易治山施設や道路補修の資材提供、林道等の継続的な点検、維持修繕。山地災害の多発化や病虫害被害森林等に迅速に対応するため、山地防災ヘルパーの巡視員雇用や定期的に危険渓流等のパトロール実施。

コロナウイルス感染急拡大について

問 ワクチン接種の進捗は。

課長 接種希望の65歳以上2回接種は、辰野病院を主体に町内医療機関等の協力で7月下旬に終了した。年代別接種率は65歳以上86.3%、40～64歳64.9%、12～39歳24.4%。

問 コロナウイルス感染急拡大の中、教育現場の学びの場をどう守るか。

教育長 タブレット利用で家庭学習でも有効活用できている。

問 経済対策としてプレミアム商品券の検討をすべき。



川島地区の虹の架け橋

課長 コロナウイルス感染拡大で大きな影響を受けた町内商店を応援し、事業の継続を支えていくためプレミアム付商品券を販売する。個人消費を喚起し町内経済を回復させる。



樋口博美  
議員

区の77.2%の世帯が川島小の存続を希望

**町長**  
重く受けとめ、丁寧に話を進める

### 川島小学校の今後

**問** 教育委員会の決めた方向は。

**教育長** 提言どおり統合の準備を進める段階で、結論は決めていない。

**問** 希望するご家族に他校を薦めた事実は。

**教育長** 教育委員会では言っていない。詳細は不明。

**問** 地域・保護者・子どもと今後を話し合うスケジュールは。

**教育長** 3年前の見解に基づき保護者との懇談を行う。

### 統廃合の基準

**問** 概ね10人は今後も統合の基準か。

**教育長** 5～10年先を見据えた基準で、その先の基準とはならない。



川島の子どもの遊び

### 町の目指す教育とは

**問** 辰野町の教育の最上位目標は。

**教育長** ①自ら答えを導き社会の担い手として人生を切り開けるようになってほしい。②自分と他者を大切に、価値ある存在として認識してほしい。③郷土を愛する心をもってほしい。

**問** 望まれている小規模校を統合する意味は。

**町長** 過小規模校であり、小規模校とは違う。同級生のいない環境を是正したい思い。

**教育長** 小規模校の枠を越えている。同学年の学びも必要。

**要望** 子どもがど真ん中の辰野町・子どもがど真ん中の学校を考える未来会議の設置を。

### 移住施策における小学校の役割

**問** 統合がされた後の川島の移住施策は。

**課長** 関係人口の増加も視野に入れて、国・県の事業を地域と共に検討して取り入れる。

**問** 具体的な施策は。

**課長** 県の移住モデル地区の指定をとりながら進めていく。



瀬戸純  
議員

子どもの権利に関する条例制定の考えは

**町長**  
現段階では考えていない

**問** 6月議会で川島小学校統廃合について「児童の意見を聴くのはあたり前」との答弁だった。児童も参加する権利・意見を言う権利があり保障されるべきだ。この間、児童と意見交換を行ったのか。

**教育長** ビデオメッセージを見た、直接話をするつもりはない。

**要望** 川島小統廃合問題やコロナ禍で見えてきた、子どもの権利に対する意識の希薄さがある。「子どもの権利に関する条例」制定への準備を。



### 町営住宅入居申請時の保証人制度の廃止・同意書で済む提出書類への変更を

**問** 町営住宅は住まいのセーフティネットだが、保証人制度が壁となり入居をあきらめてしまうケースがある。また、町民が町営住宅入居を希望した場合に町長印が押された証明書を町長へ提出することになっている。証明書等の確認は、調査同意書提出で済むよう、提出書類の変更の考えは。

**町長** 緊急時の対応等がある、今後検討していきたい。町への提出書類には同意書を使用しているものもある。調査し検討していきたい。

### コロナ禍の全町民支援、生活応援商品券配布を

**問** プレミアム付商品券は高齢者や低所得者は購入が難しい。換金格差も生じている。本当に支援を必要としている事業者・町民に届けることが重要。全町民が利用できる商品券の配布を。

**課長** 消費喚起・事業所支援の効果が大きいプレミアム付商品券で経済と生活支援を行う。

### 避難指示等の全町的な告知を

**課長** 全町に告知すると混乱を招くと考え関係地域に限ってメール配信をしたが、全町的に告知する方向で行っていく。

### ぬくもりの里を防災・福祉連携の総合防災施設へ

**町長** 浸水想定地域だが、候補として考えたい。



## 板沢最終処分場 同じ塩嶺累層 災害のおそれは

町長

強い関心を持って  
注目していく



むつやま  
ひかる  
光議員

問 町が建設計画に反対する理由、根拠は。

町長 町民の暮らしの安心と安全を将来にわたって守っていく使命がある。

問 処分場現地調査結果には第三者の評価が重要。

課長 町も専門家に鑑定依頼する準備をしている。

### 太陽光発電計画、条例運用上の課題と対応は

課長 投資目的の分割案件、災害誘発の恐れなど、住民側が不安を持つ事例がある。審議会でも議論し、経産省の新たな基準を用いたり、個々の案件に沿って申請者に意見を付したりしている。森林への制限や土地権利移転の事前協議など、他県・市町村の条例や取り組みについて研究を進めていく。



太陽光発電計画撤回地域付近での災害（小野にれ沢）

### 所有者不明・相続人不在の空き家・空き地対策は

課長 行政代執行や財産管理人制度を活用。早期対応のために町が介入することが必要な場合もある。10月から空き家など全棟調査を開始する。

### 会計年度任用職員制度の運用状況は

課長 給与水準などを除き、概ね趣旨に沿った運用になっている。

意見 非正規職員にあっても優秀な人材を確保して安定的な業務の執行を図ることが制度の趣旨。処遇の改善が一番基本、なお一層の改善を。

### 時代の分かれ目、2期目を目指す基本姿勢は

町長 コロナ禍や自然災害の多発、人口減少などによる価値観の急速な変化を敏感に捉え、大胆に改革していく柔軟な発想が必要。町民の目線で行政の手続き、仕組み、地域社会を構築する。地域経営という視点に立った政策を展開していきたい。

## 地区別説明会で、 川島小廃校方針は 合意を得たのか

町長

まだまだだ。保護者  
の声を丁寧に聞く



よしざわ  
みつお  
光雄議員

問 地区別説明会では住民が意見を言う場が無く、その後川島区全世帯の77.2%から川島小の存続を求める署名が出された。川島小を残してほしいという地元の大方の意向を尊重すべきでは。廃校方針を白紙に戻し、民主的で丁寧な検討が必要ではないか。

町長 私の思いは従来と変わらないつもりだ。私の考えを丁寧に話し、また教育委員会の意見もあるので、一緒になってこれから対応していきたい。

### 大雨災害対策は

問 区が応急対応の為に頼んだ重機代の負担は。

課長 今回は町が負担するが、ルール化していない。

問 被災住宅地の側溝・水路改修について予算の増額は。

課長 状況を把握して、予算確保に努める。

問 一級河川の避難行動計画の策定状況は。

課長 予定より遅れ、県が来年度から着手する。

問 被災者に復旧情報が十分伝わらなかったのでは。

課長 教訓をまとめている。伝え方を検討する。

問 被災した宅地や私道の復旧にも、町の支援を。

課長 公費負担は難しい。見舞金が限度だ。

問 見舞金規定を見直し、床下浸水世帯も対象に。

課長 すぐ改定するのは難しい。



宮木桜ヶ丘の被災地

### コロナ対策は

問 県外と行き来する必要がある町民への検査補助は、必要なら何回でも受けられるよう充実を。

課長 予算執行率は25%。制限緩和は様子を見たい。

### 高校再編について

要望 辰野高校の商業科廃止は、町にも辰野高校にもマイナス。総合技術校などは課題があり、定員などの具体案は示されていない。今の高校を残して充実させるのが確かな道。県に働き掛けを。

8月14日夜半の山から流れ出た土砂は、すさまじい勢いで住宅地を襲い、言葉を失った。地区の総代としてこのような経験が浅いため、対処法がわからず困り果てたが、先輩諸氏の間髪入れない指示のもと、消防団や近隣住民の協力、他地区からの応援のおかげで事なきを得て、ありがたかった。

昨年の7月、今年の8月と2年続いでの出水のため、今後は沢の整備と、下流の水路の拡幅をお願いしたい。



矢ヶ崎 明さん(宮木)

## 町民の声

### 8月大雨災害で思うこと



平林 三子さん(上辰野)

上辰野大城山入口の土砂崩れが心配な区域に家があるため、雨には敏感に暮らしている。

8月の大雨では、松葉沢からの落石と土砂で自宅横の側溝が詰まり、下流の道路は川状態となった。土砂が流れ、何軒かが水害に遭われた。沢からの落石は音もすごくて怖かった。自身の身を守るため、早めの避難が大切だとつくづく実感した。



高山 孝七さん(小横川)

37年前に東京から小横川の宿の平に居を移し未燃窯を始めた。しかし、度重なる豪雨のたびに小横川川の氾濫で道路が寸断され、何度か孤立状態を経験した。

今回の大雨では、2日間の停電と電話の不通が2週間続き、この地に住み続けることには限界を感じている。今後の生活を考え、宿の平から上辰野に居を移すことを決意した。

11月1日開催予定

## ほたるの里中学生議会 はじめの 一歩

「ほたるの里中学生議会」が11月1日に予定されています。辰野中学校と両小野中学校を訪ね、町政や議会の立場について三年生の皆さんに説明しました。私たちの生活の根本の民主主義を行う場が地方自治であること、行政へのチェック機能を持つ機関が議会であることをお話ししました。

中学生議会では「日常生活の中から質問を見つけ出してほしい」とお願いしました。



## 次回定例会のご案内

— 12月定例会予定 —

開 会 11/30(火)

一般質問 12/7(火)・8(水)

委員会審査 12/9(木)・10(金)

閉 会 12/15(水)

※確定した日程は新聞等でご確認ください

## 編集後記

8月の大雨で被災されましたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。気候変動によるものなのか、とにかく穏やかな天候が望まれます。

議会だよりにご意見ご要望をお寄せください。 広報編集委員 松澤千代子

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。お気軽に議会事務局までお寄せください。